

生活科だより

香川県生活科教育研究会編集部

発行者

香川県生活科教育研究会会長

高橋 英次

発行日 平成18年2月24日

NO. 22

今回の内容

「冬野菜の絵手紙で地域の人に情報発信」

1 趣旨

本単元「冬野菜を育てよう」では、夏野菜を育てた経験を基に、冬野菜作りに挑戦し、育て方や野菜の生きる工夫（生命力）などに気付くとともに、友達と協力して元気な野菜を育て、収穫を喜び合うことができることを目指している。さらに、冬の自然や生活の学習との関連を図ることで、厳しい寒さの中を生き抜く冬野菜特有の生きる力や知恵に迫らせたいと考えた。

このようなねらいに迫るために、栽培活動を軸に、振り返り学習を行いながら気付きを確かなものにしていくようにした。さらに、本単元の中での振り返りだけにとどまらず、1年の「アサガオの栽培」2年生1学期の「夏野菜の栽培」の学習も含めた大きな学習の中での振り返り学習を大切にした。

また、友達と協力して野菜の世話をし、共に学習をすることや、絵手紙により家族や地域の人に冬野菜のことを知らせたりすることで、「人とのかかわり」も大切にしたいと考えた。

子どもたちは、絵手紙をかくことで、冬野菜に対する観察力を高めたり、認識を深めたりするだけでなく、相手に応じて、手紙の内容を考えたり、適切な言葉を選んだりする力を身につけることもできる。さらに、絵手紙を発信することで、地域の人たちに小学校の様子や活動内容などを知っていただく良い機会になると考えた。

2 提案の主張点

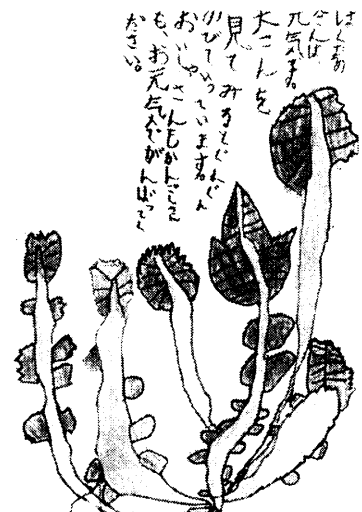
(1) 冬野菜の観察を通して、冬の季節感を

夏野菜と比べることで、冬野菜が冬の寒い環境の中で生きていく工夫をしていることに気付くことができる。冬は、夏と比べて土や太陽の光などのいろいろな自然環境が違い、その環境に適応して冬野菜が育つ。その冬野菜を育て観察する中で、命（生命力）を子どもたちは感じる事ができた。それは、冬野菜だけに限らず、その他の植物や動物、

さらに私たち人間も冬という季節をうまく生きるための工夫をしているということにも広げることができると考えた。

(2) 冬野菜の絵手紙作りと発信を通して、文章表現力等を

絵手紙という表現物により、冬野菜を育てることによって得た知的気付きなどを確かなものにしたたり、手紙を出すという行為により人とのかかわりを深めたりすることができた。さらに、相手意識を持って文を書くことで、人とのかかわりを学んだり、相手に伝える文章を書く力を身につけたりすることができた。絵手紙は、絵も文も相手に伝えたいという思いがあるので、子どもたちは意欲的に自分から進んで取り組むことができるというよさがあると思われる。

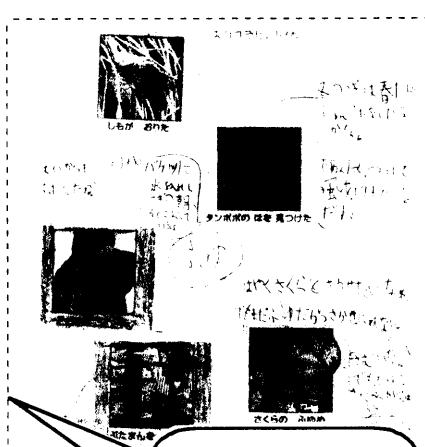


3 具体的実践

(1) 冬野菜と冬の季節感

① 生活科ワークブックを使って季節感を感じる

生活科ワークブックのカードを貼っていったり、みんなで話し合ったりすることで、冬の寒さやそれに対する動植物や人間の生きる知恵に気付くことができた。



さむいから、しもがおりてきたり、こおりがはったりするんだね。

ぶたまんもあるけど、ラーメンもあったかくておいしいね。

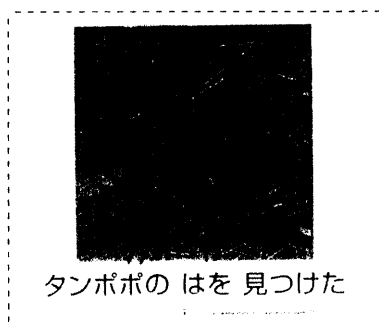
葉が地面にくっついて、風をよけているんだね。

自分で好きなカードを選んで貼っていく中で、カードが分類できることに気付き、色分けをする児童も見られた。そして、氷や北風など冬の寒さを表すカードに対し、ストーブや豚まんなど私たち人間が温くなる工夫のカード、もちつきなどの冬の行事のカード、サクラの冬芽やたんぽぽ、みの虫など冬をがんばって生きている身の回りの自然のカードがあることに気付いた。

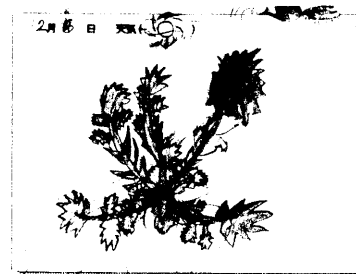
さらに、たんぽぽの葉のカードでは、国語のたんぽぽの勉強を思い出し、春のたんぽぽの葉と比べると、地面にくっつくように広がっていることを発見し、北風に当たらない工夫に気付くことができた。

② 夏野菜と比較して冬野菜の生きる知恵に気付く

冬のたんぽぽと関連づけたり、夏野菜（ポートフォリオ）と比べたりして、冬野菜の特質や生きる知恵に気付くことができた。



たんぽぽの葉と大根の葉は、上から見ると、よく似ているよ。大根も北風があまり当たらないようにしているのかな。



大根を見に行きました。大根は上から見ると、上から見るとたんぽぽの葉と似ているのかな、と思いました。

夏野菜と比べると…

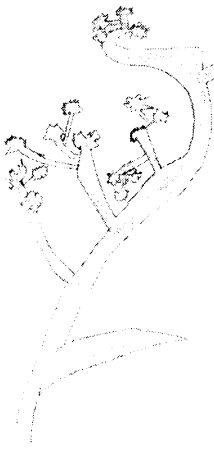
- ・ 夏野菜は支柱を立てたけど、冬野菜は支柱を立てないよ。あまり上に伸びないよ。冷たい風に当たらないようにしているんだね。
- ・ 夏野菜は、花の後に実ができたけど、冬野菜は土の中にできるものが多いな。土の中が温かいのかな。（そういえば、カエルも冬眠するよ。）
- ・ 夏野菜は、実がたくさんできたけど、冬野菜は、1つの苗に1つの野菜しかできないよ。
- ・ 土の中にできる冬野菜は、根っこが変身したんだよ。夏野菜は、花の後に実ができたね。（根っこは、水や栄養を取り入れるので、冬野菜は栄養たっぷり。）

(2) 冬野菜の絵手紙作り

① 三豊総合病院へ元気になる絵手紙を届けよう(絵手紙PART I)

三豊総合病院には本校児童の作品を展示してくれるスペースがある。そこにどんな作品を貼るか話しかけた時、寒い冬をがんばって生きている冬野菜の絵をかいたら、病気の人たちもって元気になるだろうという意見が出た。

小さいお水はにんじんです。
いまは、いぼいぼかかっています。



にんじんの種は、すごく小さいけど、ぐんぐん伸びてくるよ。今は葉もたくさん出ているよ。すごいな。

葉の形もよく見て描こう。

病院の人に野菜の生きる力を伝えたいな。

子どもたちが、絵手紙で伝えたかったことは、次の3点であった。

- ・冬野菜の様子や世話のこと(知的気付き)
- ・冬野菜の命
- ・病気やけがをしている人、病院で働く人たちに元気になってほしいという気持ち

三豊総合病院には、春の町探検でもお世話になったので、児童は相手意識をしっかり持って絵手紙作りをすることができた。

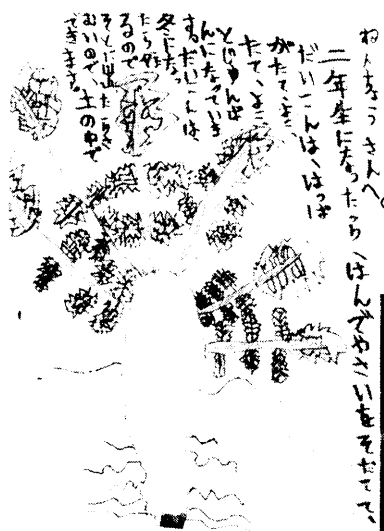
② 地域の人たちに向け、相手に分かりやすい絵手紙をかこう。(絵手紙PART II)

冬野菜の世話や観察を続ける中で、子どもたちは新たな発見をしたり、様々な経験をしたりしてきた。そこで、冬野菜のことをもっといろいろな人に知らせようということになった。お世話になった人にお礼がしたいという子、野菜作りをしている地域の人に自分たちの冬野菜のことを知らせたいという子、幼稚園の友達に教えてあげたいという子、お家の人にかきたいという子、様々な相手に絵手紙をかくことになった。今回の絵手紙をかく時のポイントは、次の3点であった。

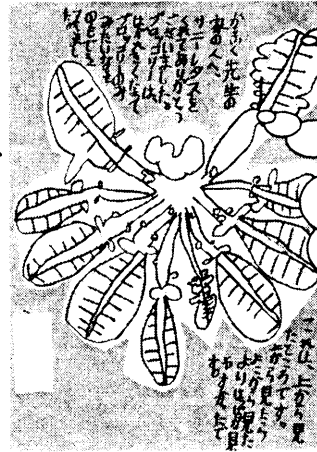
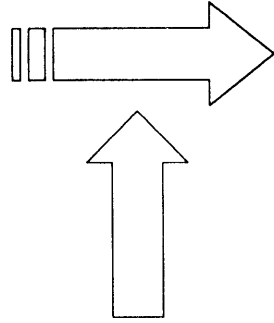
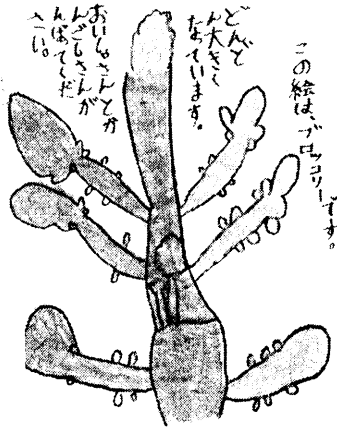
- ・冬野菜の様子や世話のこと…観察力や知的気付き
- ・冬野菜の命や生きる知恵
- ・手紙を出す相手に伝えたいことや適切な言葉遣い

冬野菜は、寒いから土の中にできるよ。おじさんも風邪をひかないよう気をつけください。

幼稚園の子にも冬野菜のことを教えてあげよう。



また、2回目の絵手紙には、様々な学習や体験などを通して、観察力が育ち、気付きの深まりや広がりなどが見られた。



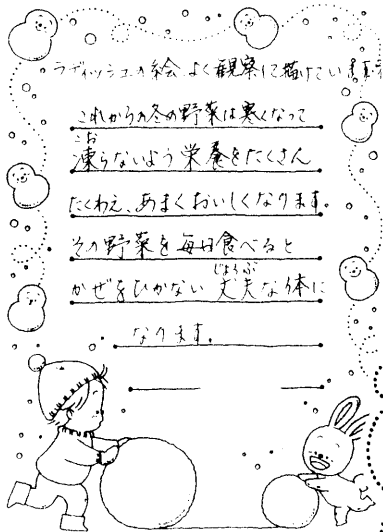
太陽の光を浴びて、元気に育っているよ。

上から見ると、葉の形がよく見えたよ。葉脈までよく見てかけたよ。

- ・上から見た観察カード、葉の付き方のひみつ
- ・にんじんの間引きによる根の観察
- ・ラディッシュやほうれん草をみそ汁にして食べたこと
- ・寒い冬を生きる工夫（生活科ワークブック）
- ・食の学習（学活）

③ 地域への情報発信と外部評価

絵手紙を出すことで、子どもたちの活動や学習の様子を家庭や地域に発信することができた。子どもたちが絵手紙を出した相手は、町探検でかかわった人たち、登下校中にお世話になっている交通整理のおじさんや安全パトロールの人たち、また、近所で野菜を作っている人たちなど、様々であった。その様々な人たちからのお礼や返事は、外部評価となり、子どもたちは満足感を得ることができ、次の活動への自信につながった。



冬野菜のこと、分かってくれてうれしいな。



また、野菜作りや絵手紙作りがしたいな。

たねまきをして
そだてるのは
大へんだけどみんな
でそだてるりら
楽しかったです
にんじんのまねが
わがてくわてくれ
ています。おはあちゃんか
がにんじんのまねが
くわてくれたいな
あまのこは
あまのこは
あまのこは